

フォレストニュース

植林が地球を救う

令和5年(2023)10月10日

No. 189

発行 高津啓洋

高尾小仏植樹祭2023

東京都八王子市にある都立高尾陣場自然公園内で「高尾小仏植樹祭2023」が10月15日に開催され「地球の緑を守る会」の私たちも合流してきました。ここは小仏トンネルの残土ずり山で、2017年からNPO法人国際ふるさとの森づくり協会の主催で、毎年、植樹祭が開催されてきました。今回で7回目になります。

前夜から降り続けた雨は、開催の昼にはすっかり上がって森土場のコンディションも良好。開会式は同協会の高橋秀行理事長のあいさ

つで始まり、「ふるさとの木を混ぜる、混植」「植える、密に、密植」と提唱者、故宮脇昭先生の方式を解説。2017年に植えた苗木もう5mを超えていました。

この日、用意された苗木は2300本で、アカガシ、タブノキ、イロハモミジ、ヤマザクラなど。参加者は210人で8つの班に分かれて、それぞれエリアに向かい、リーダーの指示に従って植樹の作業を始めました。急斜面で、丸太で土留めをしてあり、人も多いため、交通ルールを確認、上下移動は端にあ

る階段のみを使い、横への移動は丸太に沿って歩いていきます。移動しつつシャベルで穴を掘って植えていきました。

苗木と苗木は一定の間隔で、植えた後は、手で土を押さえ同じ樹種と並べないなど、注意点を抑えながら、植えた後は、稲わらを敷き詰めて縄で固定しました。

広大な斜面を、大勢の人がそろって植樹する姿は壮観です。イベントの最初と最後を、ミニコンサートの最初と最後を、ミニコンサートのいまむら瞭さん、歌手の溝端育和(やすな)さん、アルパ(ハーブ)の今村夏海さんが森をテーマにして曲を披露、盛り上げてくれました。これから苗木の成長がたのしみです。

第3回 ONLINE環境セミナー開催

当法人では毎月1回、ZOOMにてONLINEセミナーを開催しています。植樹を通じて環境問題に取り組んでいけるような啓蒙活動の一環として、支部の活動、高津理事長の講座などを配信しています。

【セミナーに参加した方の感想】

「本物の森、偽物の森」不思議に思っていた事の答えがいただけで良かったです。主人の実家の岩手に行くと言いますが、動物が町に増えています。植樹と関係があるのか気になりました。

他団体の主催による植樹祭でもよいので、本物の森造りに協力しましょう。さらに、日本列島を本物の森で囲んでしまえば、巨大地震・巨大津波が来ても、大幅に減災できそう。

私の住む地域は埋め立て地ですので、今度色々お聞きしたいです。

こうした勉強をする機会を定期的に設けて下さると有難いです。



【お知らせ】パラグアイの植樹ボランティアを随時募集しています。関心のある方は事務局まで連絡ください